

# 教えて！誘発電位検査

## forward

誘発電位検査は検査環境の整備に始まり、機器の管理、アーチファクト対策、検査技術が揃ってはじめて結果解釈を行うことができます。こうした準備や手技を適切に実践するには、正しい知識が不可欠です。

そこで今月号の特集では、1章で検査を始める前に必要な基本事項について、2章の各論では手技の実際をご解説いただきます。最後の3章では、アーチファクトとその対策について症例も交えながらご紹介いただきます。

本特集が、自信をもった誘発電位検査の実施に役立てば幸いです。

(編集部)

- 
1. 誘発電位検査を始める前に
  2. 誘発電位検査の手技と結果解釈
    - 1) 聴性脳幹反応 (ABR)
    - 2) 体性感覚誘発電位 (SEP)
    - 3) 運動誘発電位 (MEP)
    - 4) 視覚誘発電位 (VEP)
    - 5) 事象関連電位
    - 6) 術中神経モニタリング
  3. アーチファクトと対策
-